

料金別納



SHI RYO KAI
茨 陵 会

大阪府立茨木工業・工科高等学校同窓会新聞 第10号

2019年10月10日発行

茨陵会事務局

大阪府立茨木工科高等学校内
〒567-0031

茨木市春日5丁目6-4 1

TEL : 072-623-1331

FAX : 072-623-0652



文化祭のお知らせ

第57回文化祭を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

入場には招待券が必要ですが、卒業生の皆様は当日受付にて、名簿に卒業期とお名前をご記入いただきますと、ご入場いただけます。

日時：令和元年11月9日（土）10時より

茨木工科高校のホームページ <http://ibaraki-kouka.jp/>

茨陵会のホームページ <http://www.shiryokai.com/>

ごあいさつ



茨陵会会長 本津 茂樹

茨陵会会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は茨木工業高校 6 期 E 科卒業生で、現在茨陵会会長を仰せつかっております本津茂樹と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

茨陵会は 1963 年(昭和 38 年)創設の茨木工業高校の卒業生と 2005 年(平成 17 年)に再編成された茨木工科高校の卒業生から成る同窓会組織で、会員数は合計約 1 万 5700 名の大きな同窓会組織となりました。そして、卒業生は産業界をはじめ官公庁、自営業等においてご活躍され、広く社会に貢献されており、まさに伝統校の域に入っております。

茨木工業高校は北摂唯一の工業科の高校として 1963 年に創設され、私が入学した当時の工業高校の役目は高度経済成長期の少品種大量生産方式を支える中堅技術者の育成が主目的でしたが、近年

では時代の流れに適合した付加価値の高い製品を開発できる技術と企画力を兼ね備えた、より専門性の高い技術者を育成することを目的に、2005 年に工科高校に再編成されました。また進路の多様化にともない、2014(平成 26)年に機械系、電気系、環境化学システム系の 3 つの専科に新しく工学系大学進学専科を設置し、高大連携型重点校に発展しました。

歴代の校長先生や先生方の生活指導、資格取得指導、進路指導、クラブ活動指導等における熱心なご指導と努力により、現在では就職内定率 100%、各種資格取得者の増加、自転車競技部をはじめとするクラブ活動における優秀な成績、ものづくり技術を活用した地域貢献や地域連携などの多くの目に見える多くの成果を上げておられます。

このように頑張り発展する母校のために、茨陵会に与えられた使命は、母校に役に立つ同窓会組織を構築することにあると考えております。そのためにまずこの度、茨陵会のホームページを刷新致しました。是非このホームページを一人でも多くの会員の皆様に利用して頂き、メール等により現状のご報告やご意見等を頂き、ホームページの内容の充実を図るとともに、会員相互交流の場として親睦を深めていきたいと考えております。最後に、微力ではありますが同窓生の皆様のお力添えを頂きながら同窓会の運営に尽くしていきたいと考えておりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

中学 3 年生と保護者を対象とした「学校公開スケジュール」のお知らせ

10 月 19 日 (土)	11 月 2 日 (土)	学校説明会 (自由参加)
オープンスクール (自由参加)	実習体験 (事前申し込み必要)	第 2 回 12 月 7 日(土)
第 1 回学校説明会 (自由参加)		第 3 回 1 月 18 日(土)

※ 詳しくは茨木工科高校ホームページをご覧ください。

ごあいさつ



校長 久 和人

昨年度の8月末に第18代校長として着任いたしました久 和人と申します。

茨陵会の皆様には平素より本校の教育活動にご理解ご支援をいただきありがとうございます。

とりわけ、茨陵会の会長様には本校の学校運営協議会の座長として、「生徒が入学してよかった。卒業してよかった。」と生徒や保護者から思ってもらえる学校づくりについて、進言いただくとともに学校運営にもご協力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、昨年度大阪府教育庁が工科高校9校のさらなる魅力づくりを進めるため、「ものづくりの特色化」「PBLの導入」「外部連携と工科高校の魅力発信」などを行う工科高校の改編を発表し、令和2年度から4年度にかけて特色別に3校ずつ順番に改編していくこととしました。

ごあいさつ 教頭 杉山 裕二



茨陵会会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校教育活動に何かとご協力、ご支援をいただき有難うございます。

昨今、時代の流れはとても速く、10年ひと昔はおろか5年、いや1年でさえも遠く記憶の彼方に流れ去ってしまう様な感があり、世の中は、第4次産業革命に入りつつあると言われ、それに伴い産業界も変化を求められてきています。

将来、単に知識や技能だけを必要とする職業は機

令和2年度は「今宮工科・堺工科・佐野工科」の3校が改革に取り組むこととなっております。そして8月29日に行われた大阪府教育委員会会議で本校と西野田工科・城東工科の3校が令和改編校とする案が承認されました。正式決定は議会を経て11月以降の教育委員会会議の場で決定されることとなります。

なお、今回の改編は、本校の教育のさらなる魅力づくりのために取り組むものであり、この取組みにより本校の校名や校地を変更することはありません。また、在校生の学校生活に影響があるものではないことを申し添えておきます。

これから令和3年度に向けて、校内でプロジェクトチームを立ち上げ、改革を進めていくこととなりますが、「生徒が入学してよかった。卒業してよかった。」と生徒や保護者から思ってもらえる学校づくりという大前提は変わりません。

生徒が進学しても就職しても一人の人間として末永く社会で生きていけるように教職員が一致団結して、新教育課程に基づき、より充実した学校教育活動を行い、生徒の育成に精一杯努めてまいりますので、茨陵会の皆様におかれましては、引き続き本校の教育の発展に向けて一層のご指導とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

械に置き換えられますが、ものづくりの基礎・基本の本質は、どのような変革があっても変わらないと考えます。本校は、この変わらない部分を大切にし、前向きに対応できる人材を今後も輩出し、地域の産業界の発展を支えていくことが使命であると考え、教職員一同、一丸となって教育活移動に取り組んでまいります。そして、卒業生の活躍と同窓会の発展に微力ながら貢献していきたいと考えています。

本校のさらなる発展のためには、保護者・同窓会・地域の方々のご支援がなくてはなりません。茨陵会の皆様には、今後も引き続き本校教育の発展に向け一層のご指導ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

部活動(運動部)



「サッカー部」
主顧問 甲本 辻
部員数 十三名
今年度は、1年生12名の入部があり、2年生1名を含め13名で活動しています。
現在は、「チームメイト全員で練習を楽しむ」ことを目標にがんばっています。



「バレーボール部」
主顧問 木村 大田村
部員数 四名
今年の実業総体では接戦するも悔しい結果となりました。現在、バレーボール経験者もおらず、部員の数が少なく試合に出られない厳しい状況ですが、諦めず精一杯活動してまいりますので応援のほどよろしくお願ひします。



「陸上競技部」
主顧問 高崎 林
部員数 十四名
大坂IH進出 3種目
400mH・400mH
予選落ち
走高跳一記録なし
大坂高校総体進出2種目
110mH 予選落ち



「山岳部」
主顧問 古和 平松
植本 森谷 山本
部員数 十一名
今年度は4月に須磨アルプス登山、6月に荒地山登山、7月に笠置で野営訓練を行いました。9月には関西最高峰の八経ヶ岳での合宿を予定しております。



「柔道部」
主顧問 田中
部員数 二名
現在部員数が2名で部活動は低迷しています。練習できる内容も限られていて基礎的な練習しかできません。
新入部員を集めること、初段を目指して練習することを目標に活動していきます。



「硬式テニス部」
主顧問 村上 上迫
杉本 井上
部員数 二〇名
今年度の実業総体ではシングルスで準優勝、団体戦で3位入賞しました。大勢のOBの指導と援助のおかげだと思っております。もっと良い結果を目指し日々努力していきます。



「水泳部」
主顧問 村瀬 津村
富井 高崎 三好
部員数 七名
今年度の実業総体では個人競技の部で優勝および3位、団体競技の部ではフリーリレーにおいて2位となり、総合得点では次木工科高校初の3位に入賞することができました。



「硬式野球部」
主顧問 大枝 東郷
部員数 十一名
現在新チームですが、部員不足により、練習試合は他校と連合という形で行っています。来年の夏に向けて、「つながり」をテーマに今後も活動していきますので、応援よろしくお願ひします。



「卓球部」
主顧問 田所
部員数 一〇名
1年生を新たに迎えて、10人で活動しています。卓球は春夏秋冬すべてのシーズンに大会があり、部員たちはそれぞれの大会に向けて日々練習をしています。



「剣道部」
主顧問 八反田
部員数 二名
1年生2名で活動しています。今は1月の新人戦に向けて練習しています。
部員を後3名集め、団体戦に出場することが目標です。



「バドミントン部」
主顧問 柴田
薄木 佐伯
部員数 五名
少ない人数でゆるく時には厳しく活動しています。今年の実業大会では悔いの残る結果でしたが、来年は良い結果が残せるように活動していきますので、応援よろしくお願ひします。



「ハンドボール部」
主顧問 濱田 前田浩
武智 長谷川
部員数 九名
今年度に入り、1年生がとも増えました。初心者も多いですが、先輩たちが作った部活動を引き継いで頑張っています。

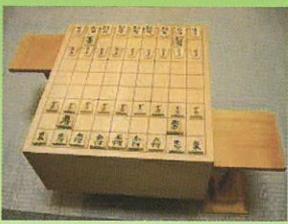


「バスケットボール部」
主顧問 岩井 石山
部員数 六名
大阪ウィンターカップ
予選
VS 市立西高校
53対101で敗戦



「自転車競技部」
主顧問 堀田 森谷
部員数 一〇名
令和元年の近畿大会では、1kmTT優勝・4km速度競走3位・ポイント5位・ロードは近畿枠で3名が沖縄県インターハイ出場を果たし、インターハイでも活躍しました。

部活動(文化部)

 <p>「美術部」 主顧問 池淵 部員数 十二名</p> <p>5月12日、2フロツクの美術部が大阪中之島にて 一同に集まつてのスケッチ会に参加 8月7日(水曜日) 8月12日</p>	 <p>「軽音楽部」 主顧問 川地 部員数 九名 岡 木村</p> <p>2年半ぶりです。昨年度より主顧問に復帰し、今年度2年目です。初心者の部員が多いため、休日をを利用して卒業生の元部員に頼りながら、後輩の技術的な指導をお願いしています。この1年半で4期、5期、6期、7期、8期の卒業生が来てくれました。これからも後輩のためによろしくお願ひします。</p>
 <p>「写真部」 主顧問 高林 部員数 十七名 霧井 玉井</p> <p>各部員が、撮影テーマに基づき撮影を行っています。写真甲子園などの写真コンテスト等に入賞すべく日々撮影しています。</p>	 <p>「漫画研究部」 主顧問 三谷 山田 部員数 六名</p> <p>茨木工科展の他、8月22日(木)に行われた「ペン先から広がる世界・未来・博覧会2019夏」にも、出品し、文化祭に向け、次の作品を制作中です。</p>
 <p>「環境倶楽部」 主顧問 津村 藤井 部員数 七名 山本</p> <p>環境倶楽部では、地域連携として、校外で人工イクラをつくる化学実験を行ったり、実習体験では、液体窒素を使った極低温の世界で演示実験を行っています。</p>	 <p>「将棋部」 主顧問 服部 部員数 十一名 橋爪、大迫</p> <p>年4回の公式大会や近隣の高校との練習試合に参加しています。また、文化祭や茨木工科展での将棋道場では多くの人に将棋を楽しんでもらっています。</p>
 <p>「コンピュータ部」 主顧問 中村 部員数 二三名 中村 清水</p> <p>現在、1年生を中心に行われ、活動中心は、2カ月前に行われる学校体験で行う部活動体験と文化祭に向けて、着々と準備を行っています。ぜひ楽しみにしてください。</p>	 <p>「SST・R&D」 主顧問 清水 部員数 九名 島本 龍</p> <p>2019年3月9日に開催された、JAXA創立50周年記念大会の種子島ロケットコンテストのCAN-SAT部門で、敢闘賞(宇宙フォーラム賞)を獲得しました。</p>
 <p>「鉄道研究部」 主顧問 片山 丹治 部員数 十三名 井上</p> <p>鉄道研究部の主な活動内容は鉄道模型を運転するために作る情景と線路の入ったレイアウト製作と人が乗れる大型模型5インチゲージの製作をしています。また、地域のイベントにも多数参加して、校外外でたくさんの人と交流を深めています。ぜひ、皆さまの活動を見に来てく</p>	 <p>「機械研究部」 主顧問 山田 片山 部員数 十六名 奥村 大塚</p> <p>エネワンチャレンジ、万博公園で行われたエコデン、ロボット相撲の大会にも出場しています。</p>
 <p>「演劇部」 主顧問 岸本 河野 部員数 一名</p> <p>昨年度の文化祭で公演を行って以来目立った活動はありませんでした。部員が少ないのが悩みの種です。</p>	 <p>「無線部」 主顧問 赤穂 部員数 六名 藤田 島迫</p> <p>茨木工科展に出展・参加しました。無線機・イライラ棒・nicobiniの模型を出展しました。特に、nicobiniによるプログラムおよび回路基板製作に力を入れました。</p>

おしらせ

現在、同窓会ホームページの更新作業を行っています！
 現在運用しているものから改訂中です。会員の方に利用して頂きやすいようになればと考えています。
 この新聞が届くころには新たなシステムが稼働しているかもしれません。一度アクセスしてみてください。
 URLは、この新聞の1面下に掲載しています。是非アクセスしてみてください。

トピックス

機械研究部 盛夏に鈴鹿で Ene-1 チャレンジ

今年も昨年度に引き続き夏の暑い中に行われる、Ene-1 チャレンジ Suzuka に参加しました。このチャレンジは、機械研究部の大きな活動の柱である電気自動車製作部門の集大成とも言えるとりくみです。

これは単三電池を電源としたバイクや自動車で、Suzuka のレーシングコースを合計3周走行したタイムで競うもの。本校からは、バイク2台、自動車4台をエントリーしました。

車両は自作したもので、旋盤やフライス、ボール盤、溶接等を用いて製作しました。また車輪のハブやギヤボックス等の部品も自作しました。

組立て作業は学校で完了せず、鈴鹿のピットで夜通し行われ、レースに何とか間に合わせました。製作に時間がかかってしまい、走行は試走なしの当日ぶっつけ本番となりました。

走行時は、天気も良く日差しも強い中で行われました。各車両はスムーズにコースへと走り出し、その光景を見てみんなで喜び讚えあいました。とは言え長いレース、自作の車両で完走を目指しましたが、残念ながら完走できなかったのですが、仲間たちと製作した車両が走っている姿に満足そうでした。

レース中のドライバーは、つなぎ姿だったこと、アスファルトからの照り返しと車両内の熱でつなぎの色が変わるほどたくさん汗をかいて頑張ってくれました。

応援に駆け付けてくれたクラブのOB、保護者の方々の応援大変ありがとうございました。この先もチャレンジは続きます。引き続き応援よろしく申し上げます。



硬式テニス部の指導に30年 お疲れさまでした

硬式テニス部の顧問になって30数年経ちました。言葉では言い尽くせないほどの沢山の子供達の人生と一緒に歩かせてもらいました。今年で再任用を終えるので、合宿も今年が最後です。

色んな事があったけれど良い顧問人生だったと感じながら合宿最終日の夜を迎えました。OB達からのサプライズで顧問の卒業証書とメッセージを書いた大きなテニスボールをもらいました。

驚いたのと卒業証書がOB達の言葉で書かれていた

ので本当に嬉しかったです、ビデオも作ってもらいました。大勢のOBから感謝の言葉をもらいましたが、感謝しているのは私の方です。人を愛する事を学び、人が変わる姿を見られて、何より幸せをもらいました。

茨木工科高校の硬式テニス部がどんどん良いクラブになることを信じて、残りの時間を主顧問の先生方の縁の下の力持ちになろうと思っています。

上迫 真理子(工業8期C科卒)



茨陵会 常任理事会より

令和元年6月8日(土) 午後1時より母校にて
常任理事会を開催しました。

本津会長をはじめ7名の方々が出席され、下記の議題を
検討されました。

議 題

- 1 平成30年度会計決算について
- 2 令和元年度会計予算について
- 3 令和元年度卒業記念品について
- 4 本年の新聞発行について
- 5 その他(新規ホームページ立ち上げ、
役割分担についてなど)



決算報告

平成30年度茨陵会決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
前年度繰越金	4,622,831	4,622,831	0	
会 費	1,573,000	1,547,000	▲ 26,000	6500×238名
雑 収 入	39	29	▲ 10	利子
新聞賛助金	0	0	0	
合 計	6,195,870	6,169,860	▲ 26,010	

支出の部

項 目	予 算	決 算	増 減	備 考
総 会 費	10,000	0	10,000	実施なし
通 信 費	50,000	40,691	9,309	切手・文化祭案内
印 刷 費	50,000	0	50,000	文化祭案内印刷
慶 弔 費	100,000	52,000	48,000	餞別金・クラブ
会 合 費	70,000	24,234	45,766	理事会等
事 務 費	180,000	24,778	155,222	進路ハガキ・HP更新料等
新入会員歓迎費	250,000	240,540	9,460	認め印鑑
積 立 金	1,500,000	1,500,000	0	
HR整備費	400,000	0	400,000	実績なし
予 備 費	3,585,870	0	3,585,870	
新聞発行費	0	0	0	
合 計	6,195,870	1,882,243	4,313,627	

次年度繰越金	4,287,617
--------	-----------

令和元年度 茨陵会予算書

収入の部

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	付 記
前年度繰越金	4,287,617	4,622,831	▲ 335,214	
会 費	1,378,000	1,573,000	▲ 195,000	6500×212名
雑 収 入	38,533	39	38,494	利子 wifi個人使用料
新聞賛助金	0	0	0	
合 計	5,704,150	6,195,870	▲ 491,720	

支出の部

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	付 記
総 会 費	10,000	10,000	0	必要に応じて実施
通 信 費	50,000	50,000	0	ハガキ代・郵送費
印 刷 費	50,000	50,000	0	案内ハガキ印刷費
慶 弔 費	100,000	100,000	0	餞別金・慶弔費
会 合 費	70,000	70,000	0	理事会他
事 務 費	180,000	180,000	0	進路ハガキ・HP更新料等
新入会員歓迎費	250,000	250,000	0	認め印鑑
積 立 金	0	1,500,000	▲ 1,500,000	
新聞発行費	1,400,000	0	1,400,000	
予 備 費	3,194,150	3,585,870	▲ 391,720	
HP整備費	400,000	400,000	0	
合 計	5,704,150	6,195,870	▲ 491,720	

令和元年5月24日
上記の通り決算報告をします。
大阪府立茨木工科大学茨陵会会計 上迫 真理子
監査の結果適正に処理されていたことを認めます。
茨陵会会計監査 時久 加代

新聞発行に際して、ご寄付のお願い

平素は、本会の運営にご支持、ご理解いただきありがとうございます。同窓会新聞も今回で第10号を発行する運びとなりました。皆様方からは、毎号多大なるご寄付をいただき、順調に新聞を発行できておりますことを、常任理事一同、感謝いたしております。

今回も新聞発行費用の寄付を募っております。1口1000円として、何口でも結構ですので、同封の振込用紙にて、振込みいただければ幸いです。(振込手数料はかかりません)

事情と趣旨をご理解いただき、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

離任された先生・職員

平成 30 年度

教 科	氏 名	転出先
校 長	田尻 肇	千里青雲高校
事 務	河井 茂美	ご退職
国 語	諏訪 彩子	ご退職
保健体育	大橋 有	吹田高校
機 械	木本 匡俊	淀川工科高校
機 械	三好 賢治	本校・主席
機 械	井上 寛一	本校・定時制課程
電 気	岸本 圭司	城東工科高校

令和元年度

教 科	氏 名	転出先
校 長	渡邊 幸彦	今宮工科高校
国 語	中村 恵明	大冠高校
社 会	小野 尚志	桜塚高校
理 科	古川 雄将	阿武野高校
芸 術	宮崎 さや	千里青雲高校
養 教	梶本真紀子	ご退職
電 気	後藤 昌志	藤井寺工科高校
電 気	川田 敏博	ご退職
環 境	神田 真一	堺工科高校
環 境	中川 京美	堺工科高校

卒業生数

大阪府立茨木工業高校（1～42期）

卒業生総数

機械工学科	6,393名
電子工業科	4,175名
工業化学科	2,004名
環境化学科	507名
計	13,079名

大阪府立茨木工科高校（1～12期）

卒業生総数

機械系	1,293名
電気系	737名
環境化学システム系	593名
工学系	72名
計	2,695名

編集後記

この度、初めて茨陵会新聞の編集を担当すると同時にHPの全面更新を行うことになりました。慣れない作業の連続に悪戦苦闘しています。HPのリニューアルで、同窓会員の皆さんに近況などの掲載や同窓会でのエピソードなどを掲載できればと思っています。

ぜひ、皆様からの投稿をお待ちしています。

高林 正幸（工業15期M科卒）

